

北毛保健生協組合員現勢

2020年12月末現在
 組合員 …………… 17,904人
 出資金 …………… 7億1,422万円
 1人平均出資金 …… 39,892円

組合員自身の力で組織を大きく強くしましょう！

くらしと医療

発行所

北毛保健生活協同組合

〒377-0005 渋川市有馬237-1
 TEL 0279-24-2141 FAX 0279-24-8873
 発行責任者 阿久澤 咏
 編集責任者 くらしと医療編集委員会
 印刷所 上武印刷株式会社

“いまできること”から工夫して

2・3月は「年間目標達成に向けて行動し、1年間取り組んできた活動をまとめて来年度へ向けて準備をする期間」です。

コロナ禍で多くの活動が制限される状況が続いていますが、各支部では“なにかできることはないか”とみんなで知恵を出し合い、様々な活動が展開されています。

人とのつながりを大切に

北橋支部では、コロナ禍で自粛が続いているため、人とのつながりが少なくなっているいま、地域組合員の方たちの様子が心配という意見がありました。そこで、支部役員を中心に高齢者や独居の方のもとへ“お元気ですか訪問”を実施することにしました。

生方肇支部長は、「みんなで集まって顔を合わせることはできないが、最近の様子や心配事を少しでも多く聞き取って、みんなで問題を共有し、少しでも不安をなくしてあげられたら」と意気込んでいます。

工夫してやり上げよう

市街地支部では、強化月間中に寄居町の全戸訪問に取り組みました。

コロナ禍で訪問をためらっていましたが、温かい声をかけていただいた方や老健建設増資に協力いただいた方、介護の相談をしてくれた方、様々な出会いと成果がありました。また、亡くなったままの名義になっていた方には名義変更の手続きもさせていただきました。

次は坂下地区の訪問行動を計画しています。コロナの感染拡大で大変な状況ですが、年間目標達成へ向けてこれからも工夫して行動していきます。



三役会議で“いまできること”を模索(赤城支部)

2月は班会開催月間

～いってみよう やってみよう!～

コロナ禍で外出自粛が続くと、意欲や体力の低下、フレイルの進行につながります。コロナにまけないよう、自分のできる“健康づくり”からはじめてみませんか？



感染対策をして出発!

渋川市が出している「渋川ウォーキングマップ」で市内全域9コースのマップが紹介されています。

私も「市街地コース」「川島コース」「北橋コース」の3コースを歩いてみました。普段は車で通過してしまっている場所も、目線とスピードが変わると新しい発見もあり、楽しい散策となりました。

このマップはコースごとに距離・参考タイムと歩数が示されていて、体調に応じたコースを自分で選べます。

2月の班会は、防寒・新型コロナ感染対策をして、3密を避けながら少人数で散策を楽しんでみてはいかがでしょうか。市内ウォーキングでコロナにまけない体づくりを!

健康づくり委員長 荒木 昭夫

※「渋川ウォーキングマップ」は市ホームページよりダウンロードすることができます。詳しくはこちらから→
 ※生協本部組織部でも印刷したものをお渡しできます。お気軽にお声かけください。



自治会上有馬
 婦人部新年会中
 止。若い世帯が
 増える中、若い
 役員が会をすす
 め、例年、会食

おしゃべり、ゲームと賑やかで若い近所さんと顔見知りになる楽しみがあった。▼人は人と顔を合わせ声をかけ合い、笑顔が明日へ生きるひとつの支えになる。生協も「協同の力」の笑顔を支えられている。コロナ禍はこの日常のあり方を根本から揺るがせている。▼憲法25条に基づく「公衆衛生」の「権限」と「責任」を負って地域に根ざしていた保健所の機能も人もしくみも財源も、国が削減して久しい。今猛威をふるう「コロナ」に「検査・保護・追跡」を「公衆衛生」の基本と科学的原則に添った「感染症対策」を国がリーダーシップをとれないでいる。▼各自治体、医師会まかせで「国民の命とくらし」に真摯に向き合っているとは思えない。今、2021年国家予算が提示された。過去最大の軍事費5兆3422億円を計上、名指しで隣国の脅威を煽るより、今足元を見てほしい。今年選挙がある。軍事費を削って「医療と命とくらしにまわすこと」を考えたい。

(宮下歌子)

医療講座



北毛病院 小児科/救急科 福江 靖

子どもにとって新型コロナウイルスは『風邪』である

これは昨年10月に日本臨床ウイルス学会にて長崎大学小児科の教授が発表した言葉です。もとより中国武漢市で新型コロナウイルスの報告があった時から子どもは軽症か無症状であることが分かっています。昨年3月に日本政府が発した全国一斉休校要請に対してはその効果に批判的な意見も多くありました。

偏見が根強く蔓延し、全国的に学校関係の行事・イベントがコロナを理由に軒並み中止となるという理不尽な現象が起きました。そんな中でこの学会発表は、個人的には痛快でした。

なぜ小児は軽症なのか？

このウイルスはヒトの体内に入るとアンギオテンシン変換酵素2受容体（以下ACE2受容体）という細胞膜タンパクに結合して細

胞内に侵入します。ACE2受容体は気管や肺の表面に存在し、新型コロナウイルスを介して肺炎などの呼吸器感染を起こしますが、実はこの受容体は血管内皮細胞にも存在しており、こちらを介して新型コロナウイルスが感染すると強い血管炎が起り重症化を引き起こして感染者は死に至ります。

まず小児ではこのACE2受容体の数が成人に比べて有意に少なく、また血管内皮の状態も健康正常であるためウイルスが血管を傷害してもすぐに修復できるので重症化しにくいと言われています。逆に血管内皮機能が劣化している喫煙者・高血圧・糖尿病・心不全・冠動脈疾患患者などは特に重症化リスクが高いと言われるわけですね。

子どもが感染を拡げているのか？

子どもが感染を拡げているという認識も間違いです。ほとんどの症例で子どもは親

組合員のみなさまへのお願い

群馬県は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、2月8日まで「警戒度4」としています。「警戒度4」の間は感染拡大を防ぐため下記の通りといたします。

1. 「原則中止」となるもの
 - ・生協関連の行事など
 - ・専門委員会、小委員会
 - ・支部運営委員会
2. 支部の判断とするもの
 - ・健康班会開催
 - ・支部運営委員会、3役会議
 - ・組合員地域訪問

※機関紙仕分けについては「事前の検温」「換気」「消毒」などに留意し、今後も実施します。

コロナ禍で困難が続きますが、感染対策を十分に行い、組合員みなで支え合い乗り越えていきましょう。

診療表変更のお知らせ

1月号に掲載した診療表より下記の通り変更になります。**【北毛病院】**

- *内科（月曜日 午後） 笠井先生より小澤先生に変更
- *内科（水曜日 午後） 笠井先生が追加

北毛病院ホームページからも診療表を確認できます。詳しくはこちらから →



★お問い合わせは北毛病院（☎0279-24-1234） 北毛診療所（☎0279-24-2818）まで

我が支部の史跡・名所

③小野上支部

小野上の七社神社 3回目の小野上史跡・名所紹介は、小野子地区にある七社神社です。

本宮は806年に創建され七社大明神と号し、後に七社神社となったものです。祭神は天之御中主神（あめのみなかぬしのかみ）外二八神とされています。

村誌には「里民は小野金善公の徳を仰ぎ相謀って、村の中央に一社を造営し御神像を奉置した」と書かれ

この神社は旧小野上村の中小野子地区（小野子字宮2158）にあり、石の鳥居と本社に続く108段の急な石段があります。毎年4月3日と9月29日に祭典が行われます。この春の祭典には、上小野子獅子舞が



祭典の際には大きなのぼり旗が

舞われ、今でも村外から写真を撮りに来る人がいます。この獅子舞は、元々は上小野子七社神社に奉納するものでしたが、現在は午前8時に如意庵、三田野の七社神社に奉納し、午後本宮の七社神社に奉納されています。

私が子供の頃、祭典当日は大勢の人が参拝に訪れ、参道には露店も並び、焼きまんじゅうなどを買って食べるのが楽しみでした。現在では、地元の人々にもあまり馴染みのないものとなりつつありますが、これらの貴重な伝統行事を後世に残していきたいものです。（小野上村誌より 小野 實）



七社神社の本社



獅子舞のようす

ロに近いのです。日本小児科学会でも『学校や保育所がクラスターになることはない。あっても稀である』という声明を昨年11月に出しています。しかしながら、なぜか日本のマスメディアはこういう事実を報道していません。2度目の緊急事態宣言で日本政府が休校要請をしないのはそういうわけですね。

感染経路と予防法

さて新型コロナウイルスの感染経路は、飛沫感染と接触感染が言われていますが、冬の感染拡大第3波にあつては『空気感染』の存在を認めざるを得ないでしょう。実はこの『空気感染』は冬場の感染症には珍しいことではなく、ご存知のインフル

エンザウイルスやノロウイルスも『空気感染』することが隠れた常識として知られています。

口から出た飛沫は、冬の乾燥した大気では落下する前に水分を喪失してエアロゾルと呼ばれる直径5μm程度の液体微粒子となり、密閉された暖房環境では対流に舞い上げられて空気中に拡散します。感染者が同じ室内にいた場合、このエアロゾルを吸い込むと『空気感染』が起こるのです。残念ながら『空気感染』はマスクでは防げません。効果的に感染予防するためには感染者自身がマスクを着けて飛沫を撒き散らさなくするしかありません。

新型コロナウイルスは無自覚感染者が感染を拡散しているの

敗したこの国では、症状の有無にかかわらず全ての人がマスクを着ける必要があるのです。密閉された暖房環境で多くの人がマスクを外している飲食店が「感染拡大の要」のように言われているのは、そういうわけですね。ちなみにテレビなどで口元だけのフェイスシールドをよく見かけますが、あれの感染予防効果は論外です。

多くの犠牲者を出している新型コロナウイルスですが、正しい情報と科学的な分析によって正しく怖がる事が大事です。軽視してもいけません。警戒しすぎてもいけません。

とりあえず「困った時には北毛病院」。

みんなの 本場

わたしの一枚

「紅葉の中で」 赤城支部 木暮 敏二
 コロナ禍、赤城支部は昨年11月11日に赤城自然園に行くことができました。思っていたより紅葉はきれいでした。「よ〜し」いい写真を撮るぞと意気込んで撮った写真の中の一枚です。マスクをしているのも記念すべきことかな〜。水面に映る足元もいい。気心知れた仲間とともに。



職員募集

医師	常勤・パート
薬剤師	常勤・パート
看護師	老健(夜勤可能な方)
精神保健福祉士	常勤
視能訓練士	パート
看護助手	常勤・パート
介護職員	常勤・パート
調理員	常勤・パート

ご連絡の上、履歴書をお送りください。
 (連絡先)
 渋川市有馬237-1
 北毛保健生活協同組合
 総務部 鈴木まで
 TEL 0279-24-1234

私も配ってます

●配布者さん紹介●
 半田支部
 木暮静江さん



先日家族が集まり、誕生日会をしました。曾孫から「おばあさん、幾つになったの？」と聞かれたので「5歳」と答えると、「わあ、ボクと同じだ」と言うのでみんなで大笑いしました。

私は95才になりました。「くらしと医療」を配り始めたのも90才を過ぎてからです。少しでも手伝えるならと、押し車を押して近所だけ7部配っています。仲間のお蔭で元気でいられます。

(聞き取り 足立みどり)

老健開所に向けて

ベッドやテーブル、通所リハビリスペースには多くのリハビリ機器も並び、施設としてのイメージが湧くようになりました。この中には、渋川初上陸の『レッドコード』(体幹強化・筋力向上に効果あり)と呼ばれる器具もあり、質の高いリハビリで在宅復帰を支援します。

2月は、内覧会や引越しなど開所に向けての最後の準備期間となります。



内覧会については、中止となる場合があります。ご希望の方は事前にお問い合わせください。
 ★お問い合わせは北毛保健生協 事務局 ☎0279-24-2141)まで

活動報告

みんなの居場所
 カフェあじさい
 おしゃべりしながら
 楽しいひととき



ものづくり班会
 みんなで
 教え合いながら



体操班会
 みんなで一緒に
 体を動かして
 フレイル予防



★新型コロナウイルス感染対策を徹底して実施しています (写真は12月に開催した班会になります)